

# 同 志 社 大 学

## 2015 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2016 年 3 月 28 日提出

| 所 属              | 職 名  | 氏 名  |
|------------------|--|------|
| 心理学部             | 教授   | 鈴木直人 |
| 研 究 題 目          | 感情語辞典の作成を目指す基礎的研究  |      |
| 研 究 成 果<br>の 概 要 | <p>今年度のこのテーマに関する研究は、外部調査会社に以来して 2 回にわたって行なった。全国を 11 地区に分け 40 歳以上、40 歳未満に分けて調査を行った。</p> <p>1 回目の調査は、一つ一つの感情語がどのような場面で使用されるものかを検討するため、以前の調査で得られた感情語を精査し、8 割以上の評価者が感情語であると評価し、かつ 5 回以上出現した感情語 72 語について、72 語を 4 つのグループに分割し、それがどのような場面で用いられているかについて、その感情語が用いられる状況を書かせる調査を行った。調査は全国を 11 地区に分け、総計 960 人について行なった。現在この結果は取りまとめている最中である。</p> <p>2 回目の調査は、感情語の関係を知るために、各感情儀についてファジー評定を求めた調査である。調査は全国規模で行い、全国を 11 地区に分割し、以前の調査で得られた 72 語に、感情語と考えられる語を足した 90 語について、快—不快、覚醒—睡眠の軸で評定を求めた。この結果も現在解析中である。</p> |      |